

民間企業の発想と専門力で 三鷹を変革する！三鷹市議会議員

三鷹ウイークリーレポート
2023年8月18日



おばた 和仁

■おばた和仁(かずひと)

〒181-0012 三鷹市野崎1-1-1
三鷹市役所内立憲民主緑風会会派控室
TEL 080-3046-0741(おばた)
Eメール info@obatakazuhito.tokyo
HP <https://obatakazuhito.tokyo>



市は、地域福祉コーディネーターの早急な全市展開を！

2023年から2026年度の地域福祉活動計画(第7期)を三鷹市社会福祉協議会は策定しました。これによれば地域福祉コーディネーターの取組拡充と、地域福祉コーディネーターをサポートする体制づくりに取り組むとしています。こうした中、市は、令和5年度に、地域福祉コーディネーターを2名増員し、市内7地区を4チームで支える体制を整備することで全市展開を図り、最終的には令和7年度中に、全7地区に1人配置することとしています。

しかし、市はもっと速やかに、かつ中学校単位(7名)ではなく小学校単位(15名)に増員して、きめ細かな対応が可能となる体制を早急に整えるべきです。

市は、市民福祉コーディネーターに対する市民ニーズの高さ、分散ネットワーク型の市役所とういのは、まさに地域福祉コーディネーターから始まるかもしれないとその重要性を認めています。一方、人材の育成や財源が課題として早急な全市展開は難しいとしています。市は、市民ニーズの高い事業は、市の責務として、全力を挙げてスピーディな取り組みに挑戦すべきです。

おばた 和仁はこんな議員です♪

◆プロフィール

■市民の声を大切に

よく、話しやすいと言われます。なにごとにも誠実に対応します！市政への要望など、お気軽にご相談ください。

■損害保険会社で豊富な経験

日本各地で、保険を通じたまちづくりに関わりました。民間企業の発想で、三鷹の課題に取り組みます。

■社会人向け大学院に在学

専門性やエビデンスに裏打ちされた政策を提案します。

■三鷹生まれ、三鷹育ち

私の原点は三鷹ですが、さまざまな地方で生活したことで、三鷹を客観的に見ることができます。

■現在: 三鷹市議会議員2期目、まちづくり環境委員会(副委員長)など三鷹ハンディキャブで活動
東京大学大学院在学(都市工学専攻/まちづくり研究室)

■これまで: 三鷹幼稚園、南浦小、三鷹一中、都立国立高校、横浜国大経済学部、元東京海上日動社員、元JQ 上場企業執行役員

■趣味: 水泳、ドラム演奏、社交ダンス



立憲民主党 立憲民主編集部 号外

〒101-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1
電話 03-3595-9988 (代表)

人が主役の地域主権から日本を変えよう！

杉並の岸本聡子区長ですが、昨年の区長選挙で、政党公認ではなく市民団体の支援を受けて立候補。187 票という僅差で、当選されました。直前まで、ベルギーで NGO の調査スタッフとして、今、ヨーロッパを中心に、「公共」の役割と力を取り戻す潮流がありますが、この世界の再公営化事例を研究していたそうです。

この数十年間、世界中で、国や自治体のもっていた公共的な役割を縮小し、水道や電力など市民生活に不可欠なインフラ事業まで、民間企業に委託してしまう民営化の流れがみられました。これに対し、市民が地域の公共財産を自分たちで民主的に管理する仕組みを作り直そうとする動きがみられます。その先頭に立つのが、スペインバルセロナやイタリアボローニャです。

このような現象は、「再公営化」「ムニシパリズム(地域主権主義、自治体主義)」「恐れぬ自治体(フィアレスシティ)」という言葉で捉えられています。これまでの新自由主義(民間企業と市場原理に委ねることが最善とする考え方)で地域の経済や支えあいが衰退しています。新自由主義とは別の道として、注目しています。

おばた重点 5 政策

「住みたくなるまち・三鷹」に全力で取り組みます！

① すべての人が主役となるまち・三鷹

三鷹市自治基本条例に基づいた、スクールコミュニティの基盤となる小学校単位の地域運営組織(原則 NPO 法人化、住民参加がベース)づくりに挑戦します。

② 子どもから高齢者まで、みんなが安心のまち・三鷹

人権基本条例(仮称)に基づいたまちづくりをします。地震対策や地域福祉コーディネーター(現在 3 名体制)のスピーディな全市展開(15 名体制)にも取り組みます。

③ 子どもを守り育てるまち・三鷹

個別最適な学びといじめのない学校に全力で取り組みます。

また、子どもたちのために、子ども人権条例(仮称)の策定にも取り組みます。

④ すべての人が活動的になるまち・三鷹

デマンドバスと LRT(ライトレールトランジット)誘致をパッケージに、公共交通網を充実させます。空き家の活用により特色ある店舗を誘致し、市内商業の活性化に取り組みます。

⑤ 持続可能なまち・三鷹

現在の緑と水の環境を守ります。また、市内のエネルギー自立、食料自立の確立に取り組み、再生可能エネルギー、有機野菜等の推進に挑戦します。